

花のある空間

大高 令子

春を呼ぶ ピンクのグラデーション



今月の花材

バラ [ポマンダー]……濃いピンクの丸い花 パンジー……濃いピンクの平たい花
ラナンキュラス……淡いピンクの丸い花 桜……淡いピンクの小花
スイートピー……淡いピンクのひらひらした花
その他……花器（細口の花瓶）

フラワーショップで花を選ぶ際、花の組合せ方に迷うことはありませんか？ そんなときは、花を同じ系統の色で揃えることを考えてみましょう。

同系色の組合せは、比較的優しい配色になります。メインとなる花を1つ選んだら、その花色を基準に少し淡い色、少し濃い色といった具合に、同系色の濃淡で合わせていくのです。

同系色でも、色の濃淡で自然な立体感も生まれ、段階的に変化する色のグラデーションは穏やかな印象を与えてくれます。

今回は、春をイメージしたピンク系の色でアレンジメントをまとめてみましょう。

最初に花の下処理として、水のなかに葉が入らないよう下葉を取っておきましょう。

細口の花器に水を入れ、まず桜を2本ほど挿します。

桜の枝で他の花を安定させながら、バラ、ラナンキュラス、パンジー、スイートピーの順に挿していきます。

色が濃く、サイズも大きなバラとラナンキュラスを低目の位置に、花が小さなパンジーやスイートピーは高めの位置にと、動きをつくるように挿していくのがポイントです。

日ごとに温くなり、春を感じる季節。アレンジメントにも春を感じさせましょう。 ▲

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。